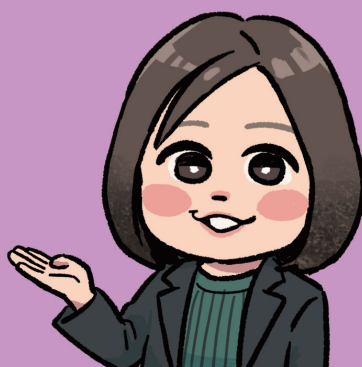


光村ポケット

中学校 英語

小学校の学びを生かす！
語彙指導の最初の一步



獨協大学外国語学部英語学科

はやま めぐみ

羽山 恵 准教授

- ☒ 生徒が単語を覚えてくれない
- ☒ 生徒が単語の綴りを書けない
- ☒ 語彙指導をどうしたらいいのかわからない

ひとつでも当てはまる方は、ぜひ中面をご覧ください！

LINE公式アカウント友だち募集中！



授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。



光村図書

【教授用資料】 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

小学校の学びを生かす！

語彙指導の最初の一步

語彙指導に悩める先生がめぐ先生にチャットで相談をしています。覗いてみましょう。

めぐ先生

小学校でも英語を学んできていると思うのですが、単語を覚えられない生徒が多くて…なぜなのでしょう？

めぐ先生

小学校での英語の学びは「音」から始まっているからです。
「単語を正しい綴りで書く」って、とっても難しいんですよ。

そもそも「単語を覚える」とは、何を意味しているのでしょうか。「聞いて『知っている！』と思う」、「正確に発音できる」、「形（綴り）を見て意味がわかる」、「単語を正しい綴りで書ける」。いずれも単語知識の大事な側面ですが、中でも「単語を正しい綴りで書ける」ことは、到達するのがなかなか大変な、比較的「上の段階の」知識です。

言語の習得は音声から始まります。私たちもそうやって日本語に触れてきました。英語教育も同様で、**小学校の外国語の授業は音声を中心**です。児童たちは「ワッカラドゥーユーライク」というひとかたまりの音声聞いて、「好きな色を聞かれているんだな」と意味を認識します。**単語の綴りを覚えることは、小学校の目標に含まれていない**のです。焦らずじっくり取り組んでいきましょう。

めぐ先生

単語を書けるようにするのは中学校の段階なんですね！
まずはこういった指導がよいのでしょうか？

めぐ先生

小学校で養ってきた音を捉える力を活用して「音」と「文字」をセットで指導しましょう。

「単語を正しく綴れる」よう指導するには、**小学校で身につけてきた「音」を捉える力を十分に利用**しましょう。

小学校では例えば、「プ」と「イ」という2つの音が合わさって「ピ」という音が生まれることに気づくようになります（これを音韻認識とよびます）。さらに、それぞれの音をアルファベットでpやiと表し、組み合わせって「pi」と綴られること、それが「pig」という単語の一部を構成することも学んでいきます（これはフォニックスの一部と位置付けられます）。中学校でも「文字（綴り）」の前に「音」を確認し、「音」と関連させながら「文字」を見せるのはいかがでしょうか。生徒たちは「音」と「文字」のセットで単語を認知しやすくなるだけでなく、「小学校と同じだ」「中学校は『続き』なんだ」と、安心して学習に臨めるでしょう。

めぐ先生

初期の指導の際に心がけるべきことはありますか？



音が中心の小学校の単語学習から繋げる気持ちで、音から綴りを推測させることです。

①小中をつなぐ「のりしろ」を作しましょう

ひとつは、小中をつなぐ「のりしろ」として、最初は**小学校の復習から始め、その後ちょっとステップアップした活動**をすることです。

まずは**小学校で文字と音の関係がどのように教えられているかを確認**しましょう。小学校の教科書にある「音と文字の関係」に関する小教材を確認したり、小学校の先生にどのように指導していたかを教えて頂いたりするのはどうでしょうか。そして、中学校でも**小学校での活動を「復習」として行い、その中で中学校で学ぶ単語を出題**してみてください。たとえば、「音声を聞いて、単語の初めの文字を書こう」という問題に、realやleaveという中学生らしい(?)単語を入れると、「小学校の復習+中学校の学習」活動になります。

②生徒たちの「音から綴りを推測する」力を育みましょう

音から綴りを推測する活動を取り入れてみることも大切です。ある小学校の先生が5年生に、「教えてはないけど、アヒルの『ダック』ってどう書くかな？」と尋ねたところ、児童たちは「d、u…最後はcかな、kかな？」とつぶやいていたそうです。ここで「u」が出てくること！これが音と文字の関係についての健全な習得過程の一例です。文字の「**正解（スペリング）**」を教え込まず、こんな「**綴り推測クイズ**」も取り入れるのはいかがでしょうか。

ここで重要なのが、**推測が正しい綴りと違っていても、「正しくはないけど、良い感じだね！」と認めてあげる**ことです。たとえば「ウェンズデイ」と聞いて、Wenzdayと綴った生徒がいたら、どう思われますか？こう綴るということは、音と文字の関係をかなり適切に捉えられているのではないのでしょうか。正しい綴りを書くために「ウェドゥネスデイ」と覚えて音を軽視しては、発音やリスニングにも悪影響です。音と文字の関係を知り綴りを推測できるようになることで、複雑な綴りの単語にも対応できるようになります。

めぐ先生





Here We Go!で語彙を学ぶ

< Here We Go! 編集部



Here We Go!のコンテンツで
語彙学習に使えるものはありませんか？



編集部

単語の練習ならQRコンテンツ「ワーク」で
音を聞きながら何度も練習できます。

教科書の二次元コードからアクセスできるコンテンツに「ワーク（語句）」をご用意しています。単元で学ぶ単語を音を聞きながら練習できるもので、家庭学習にもお使いいただけます。

各学年教科書目次ページ（p.3）右下、もしくは裏表紙中央の二次元コードをスキャンすると、各学年の二次元コードコンテンツ一覧のページにアクセスできます。このページの一番下に「ワーク（語句）」への入り口がございます。右の二次元コードからもアクセスいただけます。ぜひお試しください。

ワーク（1年）は
こちらから



Column

わが家には、小学生と中学生の子どもたちが3人います。英語の音を捉えるのが上手な子、子どもとは思えないほど音マネが得意な子、文法を知り納得したい子、英語を話すのが楽しい子、子どもの個性ってさまざまで、英語学習のスタイルにも個人差があるのだなとつくづく感じます。「自分にとって最適な学習方法」は子ども自身が探求していけばよいと思いますが、「たくさん英語を聞きなさいね」とだけは、ついつい言ってしまいます。



はやま めぐみ 獨協大学
准教授

Here We Go! キャラクターLINEスタンプ 販売中

Here We Go!に登場するキャラクターの日常が40個のスタンプになりました。120円または50コインで販売中！

右の二次元コードから、もしくは
スタンプショップで「光村図書」と検索してアクセス！



光村図書

教授用資料

発行者
発行所

吉田直樹
光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
いいいたつや

イラスト

光村図書ウェブサイト

光村図書 | Q

